



はくぶつかん

V O L 2 № 8

1977. 11. 1. 平塚市博物館

ごあいさつを申し上げます

館長 佐藤 重雄

このたび、10月1日付で菅間前館長に替わりまして博物館々長を命ぜられました佐藤です。菅間館長が立派な業績を残されて転任されましたその跡を、全くしろうとの、わたくしが引継いだわけですが、はたして皆様の御期待にそえますやらないへん不安な気持ちでいっぱいですが一方わたくし個人としましては、興味のある学問、仕事でございますので精いっぱいがんばりたいと思っております。

なにとぞ、前館長同様、御指導御協力のほど御願ひ申し上げます。



11月の行事

10/20

平塚市所蔵美術展 №2
—二見利節の人と芸術—

11/20

異才二見利節氏の遺作が平塚市へ寄贈されたのを記念して、その画業をふりかえり、展示会を行なっています。



6

体験学習シリーズ №17
(日) —民具を使おう—
しめきり

16

星を見る会
(水) —秋の星雲・星団を見よう—
秋によく見える星雲や星団を観察する。

時間：午後5時～7時

申し込み：11月6日までに往復ハガキで。多数のときは抽選で30名。小学生以下は父兄同伴でお申し込みください。

19・20 連続講座

(土日) 平塚周辺の民俗—民俗学入門—

身近な生活の中にある民俗について眼を向け、その意味について解説し、全国的視野のもとで事例を比較していく。

時間：19日 午後2時～4時半

20日 午後1時半～4時半

申し込み：11月9日までに往復ハガキで。

対象：中学生以上、60名

テキスト代：100円

20

(日)

自然観察会

—鳥のねぐらを訪ねて—
岡崎台地の地形と鳥の観察をします。

時間：午後1時～6時頃

申し込み：11月10日までに往復ハガキで。多数のときは抽選で30名。

12月の行事

4 体験学習シリーズ№18 一紙をすこう

(日) 便箋などの紙をすいてみます。
申し込み：11月24日までに往復ハガキで。多数の場合は抽選で50名。
材料費：200円

11 自然観察会

(日) 上井の口付近の地質と冬の自然の観察をします。
申し込み：11月30日までに往復ハガ

キで。多数の場合は抽選で30名。

21 星を見る会

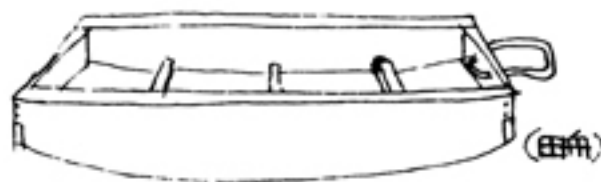
(水) 一木星を見よう
木星のもようや衛星を観察します。
時間：午後5時～7時
申し込み：12月11日までに往復ハガキで。多数の場合は抽選で30名。なお小学生以下は父兄同伴でお申し込みください。

参加申し込みの往復ハガキには、住所・氏名・電話番号を忘れず記入してください。

稲刈り

青々とした稲田も黄金色にかわり、稲刈りの季節になりました。ところが、大正頃まではもつと遅く、11月20日のエビス講から始めたなどといわれています。氷の張る中で稲刈りをしてきました。今でこそドブツ田という排水の悪い、深い田は少なくなりましたが、かつて市内ではずいぶんたくさんありました。ドブツ田では田舟という小

さな箱型の船を使い、刈った稲束をのせました。稲刈りが早くなつたり、ドブツ田が少なくなつたのは稲の品種改良や耕地整理によります。そして、これらは稲作だけでなく、私たちの生活の一転機にもなっています。(ナオ)



(田舟)

天の川が星の集まりだとしたら、満員電車のように入り混み合っているような気がしますが、星と星の間かくは、平均すると約6.8光年です。1千億分の1のモデルにすると、太陽の直径は14mm、星と星の間かくは660kmになります。直径14mmのさくらんぼが東京に1個あつたとすると次は八戸か姫路にさくらんぼが1個、宇宙はからつばに近いと思いませんか。

★プラネタリウム案内★

- 話題 11月 宇宙はからつばに近い？
- 12月 太陽のいのち
- 1月 星のかがやき

○観覧料 1人 100円

○所要時間 1回 45分

○観覧券の発売開始時刻と投影開始時刻

投影日		発売開始時刻	投影開始時刻
土曜日	1回目	12:00	13:40
	2回目	14:00	15:00
日曜日	1回目	9:00	10:30
	2回目	12:00	13:30
水・木	団体専用		

○定員 128人

○観覧券は、1人、1回、1枚しか発売しませんのでご注意ください。

○乳幼児はご遠慮ください。

はくぶつかん VOL2 NO7

昭和52年11月1日 通巻19

発行・平塚市博物館

254 平塚市浅間町12-41

TEL 0463-33-5111

印刷 平塚市総務部行政課文書係

©1977